

5月の職員オススメ本



「あとはおいしいご飯があれば」

終 サナカ／著 杉本 史織／監修 双葉社

仕事も家庭も、毎日押し寄せるタスクを処理していく二児の母。休日、お昼ご飯も兼ねて、ホットケーキ屋さんごっこをする。そして、子供たちがようやく寝静まった夜、そっと寝床から抜け出し、残っていたホットケーキミックスでかつお節クレープとワインで大人の休息を味わうのであった。

心温まる優しい物語、13編とレシピが組み合わさった短編小説ですので、ちょっとしたスキマ時間に読める、ほっこりする一冊です。

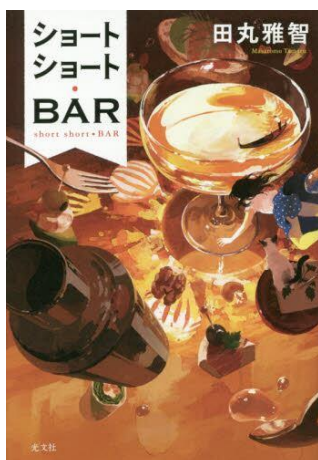


「子どもと一緒に覚えたい 道草の名前」

稲垣 栄洋／監修 マイルスタッフ

タンポポ、スミレ、オオイヌノフグリ…。庭先や道端で見かけたことはあるけれど名前がわからない草花たちを、一つ一つ丁寧に紹介しています。

みちくさ博士こと雑草に詳しい農学博士の稲垣先生と、ボタニカルアートの加古川利彦さんが描いた道草ビジュアル図鑑。お出かけから帰ってさっき見かけたのは…と親子で話したり。夜眠る前のひとときに一人ゆっくりと眺めたり。素敵なイラストにも癒やされます。



「ショートショート・BAR」

田丸 正智／著 光文社

銀髪を後ろで結び豊かな白ひげを蓄え、ウクレレを奏でるトニーさんが開いているおしゃれなバー。そこに通う人たちの悩みやグチをトニーさんがいつもやさしく受け止めてくれる。本書は短時間で読み切れるショートストーリー21作が収められていますが、いくつかのお話が不思議とつながっていたり「こんな世界があったらおもしろいかも」と思えるお話があったりと、読み進めるのが楽しくなります。

バーでの物語は「笑せえるすまん」や「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」に似た雰囲気もあり、大人の方や中高生の方にも読みやすい一冊となっています。